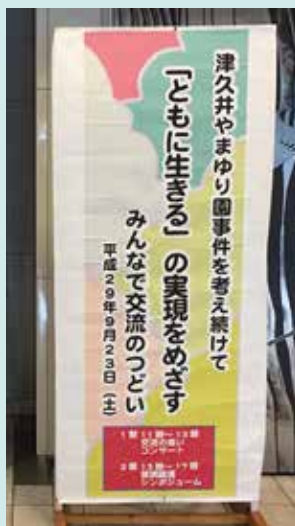


つく い えんじけん 津久井やまゆり園事件について その4

この事件について寄せられた意見・感想です。ぜひ最後までお読みください。そしてご意見をお聞かせください。

1) ADさん

19名の方が殺害された相模原事件から1年が経ち、テレビや新聞等では「やまゆり園の再建」について報道されています。そんな中、相模原市で行われたシンポジウムで、やまゆり園家族会の方2名の想いを聴く機会がありました。



社会では地域移行という流れではあるが、家族会の多くの方はやまゆり園のような入所施設再建を希望されています。その理由として、

1. 大規模施設のほうが医療的体制、防犯体制を構築しやすい
2. 慣れている利用者、職員、場所が利用者さんたちにとって安心である

2点が主な理由で、ご家族たちは地域移行にとっても不安を感じているそうです。

果たして大規模施設でないと医療的体制が組



『9月23日、やまゆり園事件を考え続け「ともに生き

めないのか？ 塀、カギ、監視カメラを設置して職員を増やせば安全なのか？ このことに関しては様々な意見や考え方があることでしよう。

また、人間誰しも新しい環境で暮らすことに不安はあるだろうし、慣れるまでに相当時間がかかる人もいます。変化に弱い方もいます。家族の方々にとっては今まで通りの生活が安心安全なのかもしれません・・・

これから利用者さん個々に「意向確認」を丁寧に行い、入所施設も含め一人ひとりにとって最良の暮らしの場を探していくことになっています。

私たち支援者は利用者さんの意向を第一に考え、これからも寄り添っていきたいと思います。

2) AEさん

やまゆり園事件をも一度振り返る
単純に直線的に感じたことを書き留めてみたい。

- ・ 40人以上の人を殺す気で襲えたのはなぜ？
- ・ 障害者は無用という考えがどうして生まれた？
- ・ 施設で働いて、支えていた人をどうして殺せる？
- ・ 職員は何をしていた？
- ・ 亡くなった19人のエピソードが発表されたが、顔も名前もわからない人のことは、ちっ



る」の実現をめざすみんなでの交流のつどい』で

とも響かない。

- ・家族が第三者の弔うことを拒否している以上、お悔やみの言葉が出ない、襲われた人の無念さ・恐怖を想像するだけ。

えーえふ

AFさん

このしょうがい者「殺傷事件」は、二度とあってはならない、そして、忘れてはならないできごとである。この事件にかかわった様々な人々の不安、心の痛み、怒りは永遠に続くであろう。一方、この事件を賛美する人々がいることも事実である。その人々は、自分より弱い（と思う）人を見つけ、匿名という暗闇の中で、非難し、貶めることによって、自分の立ち位置を高くしようとしているのではないか。

さて、私が学生の頃、そして、社会人になってまもなくの頃、しょうがい者の「くらし」について私がどう考えていたか書かせていただく。今となっては、恥ずかしい限りである。しかし、労働運動や草の実会の法人化にかかわるようになって、それまでもっていた自分の考えをすべて否定することとなった。

学生時代、ゼミの先輩から引き継いで、札幌近郊の「知的障害児施設」で1週間に1回、泊まりのアルバイトをした。10畳ほどの居室にふとんを敷いて6名ほどの子どもたちと一緒に寝た記憶がある。家族と離れて入所施設で生活するという現実に疑問をいただくこともなかった。

また、社会人になった私は、ある研究集会で、卒業後の進路先として、入所施設が不足し、増やす必要があると意見を述べた。これに対して、批判が相次いだのは言うまでもない。「障害者の権利宣言（1975）」、「国際障害者年（1981）」が、ノーマライゼーションの理念をいっそう浸透させる中、当事者や関係者の考えを二分する「養護学校義務化（1979）」の制度ができてまもなくの頃である。入所施設に価値を求め

た「差別意識」を批判され、今は感謝の気持ち
でいっぱいである。

その後も労働組合の研修会を中心にしょうが
い者の権利保障について学び続け、90年代に
入って、宇井さんや手塚さん、藤野さん、林
さんと知り合い、草の実会の法人化と「授産
施設」建設のための応援をすることになった。
草の実会は、入所施設ではなく、通所施設を
つくとし、「一市民として地域社会で生活す
る」「権利保障と自己決定の尊重」「協働共生の
関係」など、私が考えていた以上のものをめざ
していた。そして、草の実会は、現在もこの
理念を掲げて福祉サービス、地域づくりを展開
している。

このように、自分が持っている「社会の事象
を観るものさし」に疑問をもつこと、時には、
否定できることが大切である。しかし、その
目的は、人権尊重や差別の撤廃をめざしたもの
でなければならない。人を傷つけるために行っ
てはならない。